

団体試合における代表戦について

- ※①団体試合の判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。ただし、団体試合の「僅差」とは「指導差2」とする。「技有」数や「僅差」で勝敗がつかない場合は、引分とする。
- ※②トーナメント戦で対戦内容がすべて同等の場合は、チームから任意選出で代表戦を行う。リーグ戦においてはリーグ戦全試合終了後、対戦内容がすべて同等の場合のみ対象チームから任意選出で代表戦を行う。
- ※③代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の競技方法は4分間の試合を実施する。その試合において「技有」数や「僅差」で勝敗がつかない場合は、GSを行う。GSの競技方法については個人試合に準ずる。

代表戦で勝敗が決しない場合（GS）の補足説明

- (1) 代表戦が終了した時点で「技有」によるスコア差および「僅差」がなく、あるいは指導差1の場合はGSを行う。
- (2) GSでは、「技有」以上によるスコアを得た場合は、その時点で試合終了となる。
- (3) GSで一方の選手に指導が与えられて、指導の数に差がなくなった場合は、そのまま試合継続となる。【例：B選手に指導】

GS前（本戦）		⇒	GS		試合
A選手	B選手		A選手	B選手	
指導1	指導0	⇒	指導1	指導1	継続
指導2	指導1	⇒	指導2	指導2	継続

- (4) GSで指導が与えられて指導の数に差がついた場合は、その時点で試合終了となる。
【例：B選手に指導】

GS前（本戦）		⇒	GS		試合
A選手	B選手		A選手	B選手	
指導0	指導0	⇒	指導0	指導1	B選手負け
指導0	指導1	⇒	指導0	指導2	B選手負け
指導1	指導2	⇒	指導1	指導3	B選手負け

- (5) GSで両者へ同時に指導が与えられた場合、指導数の多い方が負けになる。
【例：両選手へ指導】

GS前（本戦）		⇒	GS		試合
A選手	B選手		A選手	B選手	
指導1	指導0	⇒	指導2	指導1	A選手負け
指導2	指導1	⇒	指導3	指導2	A選手負け